

## ◆朝の会の当番の仕事をしよう

<p><b>1 対象児童生徒（対象学級）の実態</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・小学部 肢体不自由</li><li>・人前で発言したり、質問されたりするとうつむいてしまう。</li><li>・見通しがもてない活動、人の気持ちを考えることが苦手である。</li><li>・苦手意識のある活動は、事前に説明したり、視覚的な支援を取り入れたりすることで取り組むことができる活動が多い。</li><li>・1年生の時は、朝の会の司会が難しかった。</li></ul>
<p><b>2 指導目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・iPadを使用して、グループで行う朝の会の当番の仕事ができる。</li></ul>
<p><b>3 取組の中心となる教科・領域等</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・日常生活の指導</li></ul>
<p><b>4 使用したアプリ、周辺機器</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・Keynote テレビ HDMI ケーブル</li></ul>
<p><b>5 指導の経過及び児童生徒の変容</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・指導期間 7月～12月</li></ul> <p>&lt;朝の会の流れ&gt; 「あいさつ」「健康観察」「今日の日付、天気」「今月のうた」「1分間スピーチ」「先生の話」「あいさつ」</p> <p>(1) 1学期前半</p> <p>手立て</p> <p>朝の会の項目や健康観察時の児童の写真、給食の献立の写真などをKeynoteに表示して朝の会を進行をさせる。また、1分間スピーチの内容について事前に考え、原稿用紙に書いておく。</p> <p>評価</p> <p>当初よりiPadの操作については、ほぼ抵抗なく行う。時々操作の仕方が分からなくなり、止まることもあるが、一連の操作は本児が行う。写真つきの名前を表示することで、「健康観察」の呼名をすることができた。</p> <p>課題</p> <p>朝の会の項目を読むことができず、教員に項目を読んでもらうことで進行を行う。号令や呼びかけ1分間スピーチの原稿、給食のメニューを読むことができない。</p> <p>(2) 1学期後半</p> <p>手立て</p> <p>事前に考えた1分間スピーチを教員がKeynoteにあらかじめ入力しておく。当番札をグループ内で回し、当番がまわってきたことが視覚的に確認できるようにする。</p> <p>評価</p> <p>いつも同じメンバーで行うことに少しずつ安心感が出てきたようで、「あいさつ」や「今日の日付、天気」での号令や呼びかけを行うことができるようになった。iPadに前日に考えたスピーチを入力しておくことで、徐々に読むことができるようになってきた。</p>

#### 課題

朝の会の項目を一人で読むことはまだ難しく、休み明けなど本人の意識の中で、朝の会の司会をする見通しがもてていなかった場合には開始に時間がかかることがあった。また、給食のメニューについて、継続して読むことができなかった。

#### (3) 2学期前半

##### 手立て

給食のメニューについて、すべてを表示し見通しをもたせる。休み明けに当番が回らないよう配慮する。

##### 評価

欠席などで突然当番がまわってきたとき以外は、ほぼスムーズに開始することができるようになってきた。

##### 課題

項目を読み、会全体を進行することは困難である。

#### (4) 2学期後半

##### 手立て

給食の際と同様、朝の会全体の流れを示した用紙を横に置いておく。欠席などで突然当番が回ってきた時には、自分が行うか替ってもらうかを選択させる。

##### 評価

項目を読み、朝の会を進行するという一連の流れを行うことができようになった。i P a dがあることで、自信をもって朝の会の司会に取り組めるようになってきた。

#### 6 指導のポイント（変容の要因、効果的な支援方法等）

- ・ i P a dには興味があり、苦手意識のある活動の中で使用すると意欲が高まった。
- ・ 見通しをもち、安心して取り組むためには、1画面にまとめて表示した方がよかった。
- ・ 見通しをもたせるための指導には、他の場面での取り組みが必要であったが、慣れれば i P a dが司会をする上での不安を軽減する要因になった。